

第5回箕面駅周辺整備方針検討懇話会会議概要

(5月28日実施分)

議題1 前回(3月22日開催)の確認について【報告】【資料1】

議題2 箕面駅周辺整備計画(案)について

パブリックコメント集約(案)【資料2】 整備計画(案)【別冊】

主な意見

(駅前広場について)

駅前広場はメインとなるので、噴水跡については、イメージだけでなく、実施設計の際にしっかり検討してもらいたい。

駅前広場のトイレについては、女性トイレの数など、実施設計の際に、もう少し検討してほしい。

パブリックコメントの30番、駅に入るスロープのシェルターについてだが、対応を阪急の方へ突き放した回答になっている。駅舎の高さと駅前広場の盤高が違うことが、根本の問題のような気もする。表現を一緒に検討させてもらいたい。

(駐車場・駐輪場について)

パブリックコメントの67番、駐輪場の階高についてだが、回答の結論は2階建てにするということか。

回答：駐輪場は、3階建てを予定している。ただ、2階建てで収容台数を確保できたら、経費も削減できるし、利用も促進できると思う。そのためには、使いやすく強度のある2段式ラックが必要となるが、今後検討していきたい。

駐車場、駐輪場の整備では、駐輪場を先に整備するのか。

回答：駐輪場を先に建て替え、その間の駐輪場の代替場所を、駐車場にしたいと考えている。

駐車場の代替場所はどうするのか。

回答：駐車場の代替場所は、考えていない。観光シーズンには、内部改修の工事はできないが、外壁改修工事はできると思う。内部の工事は、部分的に使用禁止にして進めることとなる。

(アーケード・街路)

パブリックコメントの89番、サインとアーケードの様式のことだが、もう少し丁寧に回答した方がいい。サインは機能面を重視しなければならず、一つ一つのサインがデザイン性をもつと、他のものと喧嘩してしまう。一方アーケードは、デザイン性を重視しなければならず、シンプルモダンの様式だとデザイン性、アクセントが弱くなる。目的

が違うので、必ずしも様式を揃えるのがいいとは限らない。ただ、一つの景観を構成するため、色彩やデザインの他の部分で整合性をとる必要はある。

(地区の活性化策)

この事業の実施を見守り、またソフト面の活動に、協力してもらえるような場が必要だと思う。その役割をまちづくり協議会が担うことはできないか。

回答：まちづくり協議会は、中心市街地を対象に、まちづくりをするためのプラットフォーム、土台である。活動の趣旨としては、こういう新しい問題が出たときに、意見をまとめたり、参加者を募集したりというのは、目的に沿っている。土台として活用していただきたい。

事業を進める際の行政の担当部は、どこになるのか。

回答：地域振興部が中心となって、進めていく。

パブリックコメントの111番、商業者もまちづくりに参加し、市民のみにボランティアをまかせてはいけないとあるが、商業者もいろいろと取り組んでいるので、回答にも、そのことをもう少し書いてもらいたい。

計画を作ってもなかなか実施できず、また行政主導で、市民の声があまり入らなかった時代もあったが、最近はサンプラザの改修も実現したし、今度は駅周辺の整備ということで、上手く進んでいると思う。今回も、市民のみなさんが、多くの意見をワークショップで出され、いろいろな形で参画されている。商業者や行政のかたも入られて、非常に上手くいっており、箕面らしいまちづくりだと思う。今後もこういったまちづくりを続けていってほしい。

まとめ

「箕面駅周辺整備のあり方について〔箕面駅周辺整備計画〕」（案）の内容は、おおむね了とされた。ただし、駐車場、駐輪場の整備スケジュールについては、まず先に駐輪場を整備し、その後駐車場を整備する。

パブリックコメントとして募集した、「箕面駅周辺整備のあり方について〔箕面駅周辺整備計画〕」（素案）に対する意見への回答は、おおむね了とされた。ただし、今回いただいた意見をもとに、以下の番号の回答については、修正を加える。（30番、89番、111番）今後、事業の実施は、地域振興部が中心となり進めていく。

